

本講座は、オンラインでの受講に対応いたします。

未来響創®  
IEで拓くモノづくりとサービスの新たな価値

SCMの成功の秘訣はECMの成功にあり！

## 『モジュラーデザインで決定する生産効率』

日時／2022年11月8日(火) 10:00～17:00

会場／東京・平河町近辺の会議室

受講料／日本IE協会会員/他地区IE協会会員 39,600円  
一般 52,800円  
日本生産性本部 賛助会員 46,200円  
(一名様につき 税込み・テキスト代込み)



講師

(株)MEマネジメントサービス 常務取締役  
マネジメントコンサルタント  
ECM/MD研究会会長 **大塚 泰雄 氏**

### 設備投資の抑制、金型・治工具費の削減や間接部門の工数削減に向けて

本セミナーは、設計の効率化、工場の生産性向上に焦点を当てます。「モジュラーデザイン」は、上流工程の製品設計段階における設計開発革新であり、事前にすべての仕様を標準化した製品モデルを確立しておき、顧客要求に対しあらかじめモジュール化された部品の組み合わせにより、自動設計でカスタム化された製品へ対応していく画期的手法です。これにより設計リードタイムは劇的に短縮化され、工場では、あらかじめモジュール化された部品により、製造ラインが統合され設備投資の抑制、金型・治工具費の削減や間接部門の工数削減に役立ちます。ぜひこの機会に皆さまのご受講お申込みをお待ちしております。

【プログラム : 11月8日(火) 10:00～17:00】

#### 第1章 マス・カスタマイゼーションに欠かせないモジュラーデザイン ～大量生産と受注生産を両立する～

- 1-1 マス・カスタマイゼーションとは何か
- 1-2 日本のECM (Engineering Chain Management) の課題
- 1-3 モジュラーデザインの目的と設計・生技・生管・購買・製造のメリット
- 1-4 あるべきモジュラーデザインの進め方 (着眼大局理論)

#### 第2章 製品の品揃えを一括企画するモジュラーデザイン ～製品モデルで生産効率に有利なラインアップを追求する～

- 2-1 製品モデルとは何か
- 2-2 製品ラインアップ表の確立
- 2-3 種類を抑制するモジュール数(標準数)の使い方
- 2-4 ブラックボックスの設計手順を形式知化する設計手順書とは

#### 第3章 事前の目標設定と部品のモジュール化の進め方 ～モジュラーデザイン可能性分析により成果を予想する～

- 3-1 事前に行うモジュラーデザイン可能性分析
- 3-2 製品仕様から可能性を追求する“製品仕様分析”
- 3-3 部品種類数から可能性を追求する“製品機能様分析”
- 3-4 モジュラーデザインの活動効果と経営指標への貢献

#### 第4章 モジュラーデザインから生産モジュール化へのつなぎ方 ～モジュール生産には柔軟・迅速性が必須～

- 4-1 組立・加工しやすい設計の条件
- 4-2 設計と生産の両立を見える化する
- 4-3 モジュラーデザインから生産モジュール化へつなぐ
- 4-4 部品構造と組立工程のバラエティ分析

#### 【モジュラーデザイン事例紹介】 ～特注品をモジュラーデザインでいかに標準品へ改善したか～

- 5-1 モジュール化の原点のF社の成功事例
- 5-2 顧客要求仕様から見積仕様書を自動出力事例
- 5-3 ECM事例にみる成功の条件

演習用の Windows PC  
の準備を推奨します

## 講師紹介

(株)MEマネジメントサービス 常務取締役 ECM/MD 研究会会長  
 マネジメントコンサルタント 大塚 泰雄 氏



大手工作機械メーカーに 11 年勤務。開発・設計、製造、営業技術などを経験し、主に企業では、設計・生産技術・購買・製造部門の原価管理システムの立案・構築・実施や VE、IE、購買査定テーブルを活用した、総合的コストダウンを展開し、企業の業績を改革するコンサルティング業務が活動の中心である。その他、公開セミナー、社内教育などの活動も行う。最新著書に『よくわかる金型の原価管理とコストダウン』『見える化でわかる売り値と買い値』『トコトンやさしい原価管理の本』（日刊工業新聞社刊）がある。

専門：バリューエンジニアリング(VE)、設計標準化、設計管理、工場管理、生産管理、生産性向上、品質管理、標準原価管理

お申込み



ホームページからお申込みください  
[www.j-ie.com/seminar](http://www.j-ie.com/seminar)

以下ご記入の上、このまま FAX にて  
 お申込みいただくこともできます

FAX 03-3511-4069

### 『モジュラーデザインで決定する生産効率』

CN25

2022 年 11 月 8 日

■ 貴社名

■ 所在地 〒

	氏名	所属・役職	TEL/FAX	
申込 責任者	フリガナ  E-mail		TEL FAX	会場選択 どちらかに○
参加者 1	フリガナ  E-mail		TEL 当日の 連絡先	会場 ON LINE
参加者 2	フリガナ  E-mail		TEL 当日の 連絡先	会場 ON LINE
合計【           】名		参加費【           】円		

■ キャンセル規定に関して ■

申込受け付け後、およそ開催日の 10 日前になりましたら、参加証（集合案内）、請求書を郵送いたします。正式受付後、参加予定者のご都合が悪く出席できない場合には、代理の方にご出席をお願いします。代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けます。

【(注)※キャンセルは、必ず E-mail、または、FAX にて、日本 IE 協会までご連絡下さい。】

- ・開催日の 7 日前～前々日(開催日初日を含まず起算)：参加費の 50%
- ・開催日の前日および当日：参加費の全額(料金のご返金はできません)

「個人情報保護の取り扱いについて」をご一読いただき、同意の上、ご記入ください。ご同意いただけましたら同意署名に印印をお付けください。

個人情報の取り扱いについて同意する。

【個人情報の取り扱いについて】 ※日本 IE 協会と（公財）日本生産性本部は、2011 年 4 月に事業統合しました。

（公財）日本生産性本部・日本 IE 協会では、皆様の個人情報を以下のように取り扱います。下記の内容をご確認いただき、同意の上、日本 IE 協会のプログラムにお申込みいただきますようお願い申し上げます。なお、同意いただけない場合は、適切なサービスを受けられない場合がございます。同意いただいた後でも個別に不同意の表明をすることが可能です。

- 利用目的：①本プログラムに関する各種連絡、資料等の作成・配布、プログラム開催当日や講演者・事務局打ち合わせでの利用。  
 ②日本 IE 協会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査。  
 ※上記以外の目的で個人情報を利用する場合、ご本人に個別に理由を説明し、同意を得た上で行うものといたします。
- 個人情報の第三者提供について：法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に提供することはありません。  
 但し、本プログラムを担当する講演者等に、名簿等を確認いただく場合があります。
- 業務委託について：本プログラムの運営にあたり、業務の一部を外部に委託する場合があります。委託先に対しては、参加者へのサービスに必要な個人情報だけを委託します。（公財）日本生産性本部の選定基準に基づき委託先を選定し、契約により個人情報の保護を徹底するとともに、委託先に対して適切な管理・監督を行います。
- 写真等の利用について：本プログラムでは撮影を行う場合があります。得られた情報や撮影した画像は、日本 IE 協会の広報宣伝活動に使用される場合があります。
- 皆様の権利：個人情報について、ご本人による開示請求・訂正・削除・利用停止等を求めることが可能です。  
 その際は、以下までご連絡ください。【連絡先】日本 IE 協会：03-3511-4062

（公財）日本生産性本部 個人情報保護管理者 総務部長